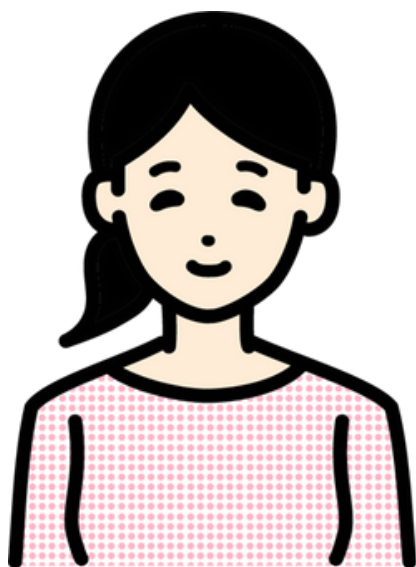


先輩の声2023



Bさん

所属：通園部門

年代：30代

勤務年数：2年目

入職前の経歴：事務職2年

児童福祉職6年

——インタビューよろしくお願いします。まずは所属している部署と、入職するまでの簡単な経歴を教えてください。

Bさん：

わたしは通園部門の児童発達支援センター第一はばたき園に所属しています。こちらに入職する以前は、事務職や児童福祉職に就いていました。

——児童発達支援センター第一はばたき園では、どのようなお仕事をされていますか？

Bさん：

私の所属している児童発達支援センター第一はばたき園では、発達に心配や課題のあるお子さんの療育活動をしています。1クラスに9～10人の子どもたちがいて、職員3名が担当して、1日の中で遊びや食事、着替えなどの生活場面とともに過ごしています。子どもたちが帰った後は、1日の振り返りや療育準備をしています。

——なるほど。お子さんの療育活動ということですが、保護者の方々と接する機会も多いのではないですか。

Bさん：

はい。保護者の方へ子どもたちの日々の様子を伝えて関わり方を一緒に考えたり、保護者のみなさんとの関わりも大切にしています。

——お子さんだけでなく、保護者の方々ともきちんとコミュニケーションをとられているんですね。職員3名ほどで1クラスを担当しているとのことですが、大変だったことはありませんでしたか？

Bさん：

そうですね、なにかある時は、1日の大半をとともに過ごすクラス職員に相談することが多いですね。日頃から、おたがいに声を掛け合ったり、1日の出来事を話したり、こまめに情報共有ができていて話しやすい雰囲気があると感じています。あとは上司やクラスの違う職員も、いつも優しく声をかけて下さいます。

——なるほど、職員同士でチームワークがとれていて職場の雰囲気もよさそうですね。

Bさん：

それでいうと、時間単位で年次有給休暇を取得することができるので、家庭の事情や通院など、融通をきかせてもらえるのも助かっています。

——職員それぞれが相手への思いやりをもっているんですね。それでは最後になりますが、事業団に入職を考えているみなさまへのメッセージをよろしくお願いします。

Bさん：

私も事業団に入職した時は不安がいっぱいでしたが、日々の中での一つの学びを身につけていこうと前向きな気持ちで仕事に取り組めて、毎日学びながら楽しく仕事ができています。福祉の経験がある方もない方も、「やってみよう」と前向きに挑戦していただければと思います。

——今回はいろいろとお話くださりましてありがとうございました。

